

乾徳山山行報告

【山行日】2022年 10月 16(日) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 4:00

【費 用】マイカー1台 : 3000円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL:廣瀬

鈴木ミ、福島、藤原フ、吉田

【コースタイム】岩舟支所 P4:00＝徳和 P6:40/6:55

～乾徳山登山口 7:25～銀晶水 7:55～金晶水 8:30

～扇平 19:30～乾徳山 10:30/10:45～扇平

11:35/12:20～林道出合 12:50～道満山 13:10/13:15

～徳和 P 13:50/14:00～道の駅「みとみ」

14:30/14:40～道の駅「はなぞの」16:20/16:40＝岩舟支所P18:05

去年、山行アンケートで乾徳山のリクエストがあり計画したが、雨で中止を余儀なくされた。今年もアンケートでリクエストがあり、リベンジで今回の計画を立てた。参加者が二転三転したが、最終的



に6名での山行となり、岩舟支所を4時に出発する。国道50号線から大泉町を通り、国道407号線から140号線を通って道の駅「みとみ」でトイレを済ませ、徳和の駐車場に着く。30台位止められる駐車場は、半分以上車が止められ、空いてる場所に車を止める。出発の準備を整え、ストレッチを済ませて出発する。駐車場から橋を渡り、徳和川沿いの車道を上流に向かって歩いて行く。集落を過ぎると砂利道の林道になり、しばらく進むと登山口に着く。右へ樹林の登山道へ入り、林道を横切ると間もなく銀晶水の水場が

現れる。左手の尾根に取り付き、ジグザグの登山道を登り高度を上げて行く。やがて自然林の明るい樹林の道を登ると、錦晶水の水場に着く。水量が豊かで周囲が明るく広く、休憩には絶好の場所

である。小休止して冷たい錦晶水を飲み、ミカンをいただき疲れた足を休める。傾斜が緩み笹とカラマツの林を抜けると、国師ヶ原に出る。ここは十字路になっており、左には高原ヒュッテがある。十字路を直進し、のびやかな草原の向こうに、目指す乾徳山が高く聳えて見える。明るいカヤトの道を登り、稜線に躍り出た所が扇平で月見岩と呼ばれる大きな岩がある。帰路の道満尾根への道を右に分け、左に尾根上を登り山頂に向かう。間もなく針葉樹林の中、岩塊を縫うように登る道となる。岩の間をすり抜けるように登り、いよいよ岩稜帯の登りが始まる。まずは15mのクサリがあるカミナリ岩が待ち受ける。見た目は手強そうに見えるが、スタンスやホールドは豊富で楽に越えられた。



次に現れた鳳岩は高さ10mの垂直な岩壁で、皆さん「エ～これを登るの」と不安そう。岩の裂け目



に足をいれて、スタンスが取れない所はクサリに頼って、腕力で登れば大丈夫、と言うと皆さん上手に登って行く。登り切った所が乾徳山山頂で、岩塊が積み重なる山頂は絶好の展望台になっている。富士山や南アルプスは雲が多く見えませんが、奥秩父の山々や大菩薩連峰が見渡せる。記念写真を撮ったら岩に腰かけ、リンゴや菓子を食べて展望を楽しむ。下りは東側に付けられた巻道を下り、鳳岩の下からは往路を戻る。カミナリ岩はクサリで下るが、こちらは問題なく下れた。

扇平まで下り月見岩の前でランチタイムとし、お湯を沸かしてカップ麺やスープを作る。カヤトの向こうに紅葉した山々が見渡せ、至福のランチタイムとなった。ここからは道満尾根を下り、ドウダンツツジの紅葉のトンネルを気持ちよく下って行く。途中、林道に出るが、左に少し進みショートカットの急坂を下って行く。ここからはしばらく急坂を下り、鞍部まで下ると緩やかな登りになって道満山山頂に着く。樹林の中の平坦な山頂で、小さな山頂標識があるだけである。さらに下ると徳和峠に出て、右に舗装道路を下るようになる。分岐には標識があるので、標識に従って下ると徳和の駐車場に着く。靴を履き替えたらずりに乗り、道の駅「みとみ」に寄ってトイレを済ませる。さらに道の駅「はなぞの」に寄ってお土産をゲットし、予定通り岩舟支所に帰着した。

